

月刊

かしす

9

2023 SEP vol.118

総発行部数
50,000部

無料各戸配布 47,000部
無料設置 3,000部

巻頭特集

日本の産業を支える鹿島港で再発見!

遊覧船ユーリカが繋ぐ 未来への航海



おすすめ情報

- 始めよう!新しい趣味!「ゴルフガイド」
- これ知っトク!?店のこだわり「クローズアップグルメ」
- ぴったりのケア情報きつとみつかる!「じっくり美容、じっくり健康。」
- 暮らしに役立つお得な情報満載「住まいるGUIDE」

地元の求人情報が満載!まちJOBまじョブ



Facebook
@kashisu2013



LINE

▲登録、友だち追加、フォローしてお得な情報をゲットしよう!

IBANAVI.NET
いばナビ
いばらき最大級の地域情報サイト

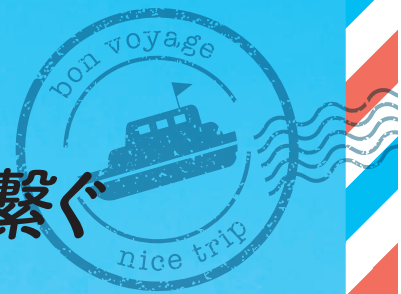


<https://ibanavi.net/>

巻頭特集

日本の産業を支える鹿島港で再発見!

遊覧船ユーリカが繋ぐ 未来への航海



鹿島臨海工業地帯の物流を支える、首都圏東側のゲートウェイ・鹿島港。
日本の産業を支える大きな役割を担う鹿島港内を一周する遊覧船が就航して今年で46年。
港湾サービスを提供する鹿島埠頭株式会社はこの遊覧船ユーリカを通じて、
日本最大級のコンビナートを再発見する機会や工業地帯の発展に大きく寄与しています。



**校外学習や週末の定期便で人気!
港内をぐるっと一周する45分の船旅**

近代的な鹿島臨海工業地帯の物流の拠点である鹿島港をぐるっと一周する「ユーリカ」。神栖市と姉妹都市を結んでいるアメリカ・ユーリカ市をその名の由来とする、全長13.5m、最大46名が乗船できる遊覧船です。1977年から運航がスタートし、現在は4代目となるユーリカは、港公園から出発する12キロ約45分の船旅が満喫できます。

主に石油化学、鉄鋼、飼料や木材の3つのエリアに分かれる港内。初めに向かう南航路では、洗剤やシャンプーなどでお馴染みの「花王」の巨大工場が。中央航路には原油や石油のタンク群に続き白い塩の山が見えてきます。その対岸には、世界最大級の鉄鋼生産基地「日本製鉄」の製鉄所があり、山積みになった原料や30万トン級のタンカーが専用岸壁に停泊する姿は圧巻です。北航路は、「中国木材」の木材製造工場あり、北米から輸入した原木が運び込まれる様子は見応え充分。小麦粉やサラダ油で知られる「昭和産業」をはじめとする各社の穀物サイロ基地や大型クレーンの規模感に圧倒されます。運行中は音声ガイドが流れますが、運転席にいるスタッフが現在停泊中の大型船に関する説明をしてくれるなど、リアルタイムの情報をキャッチできるのも魅力です。

これまで小学生の校外学習や企業の視察などで利用され、一般向けに運航される土日祝日の定期便は出発1時間前から行列がで、特にファミリー層に人気。親子で訪れていた宮澤琉杜くん(小学3年生)は「煙突から出ている火や塩の山が見えて写真や動画をたくさん撮りました」、萩原大生くん和佑成くん(小学3年生・小学1年生)は「たくさん工

私も幼い頃、2代目遊覧船の「ラサロカルデナス」に乗船しました。人々の暮らしを支える仕事ができて楽しいです!

鹿島埠頭株式会社
船舶部 船舶営業課
課長代理
小野 利文さん

場があることを知れたし、船に乗って楽しかったです」と社会見学や船旅に満足した様子で話していました。

**首都圏東側の玄関口の発展を支援
県内の港湾サービスを提供**

遊覧船のユーリカの運航をはじめ、この港湾サービスを提供しているのは、鹿島埠頭株式会社。茨城県や地方自治体、港周辺の立地企業、国内大手船会社などの共同出資で1968年に設立された第三セクターで、鹿島港、茨城港(日立港区、常陸那珂港区、大洗港区)を拠点に、茨城県内の港を支えています。

メインの仕事は、大型の船が港を離着岸する時に横移動や旋回のサポートをする曳船業。その他は海上タクシー、倉庫の運営、外国船と行政を繋ぐエージェンツ業、公共の岸壁の施設管理や保安業務、港の振興団体の事務など業務内容は多岐にわたります。

来年、開港55周年を迎える鹿島港は「国民の生活を支える港」と小野さん。石油化学、鉄鋼、飼料、木材など約170企業が立地している日本最大級のコンビナートである鹿島

見どころたっぷり!!

子どもも大人もわくわくドキドキ♪

原油・原料を積んだ全長330mの大型船が入港することも。

船上にいる船員さんに手を振ってみよう。笑顔で振り返ってくれるよ。

乗船中は、石油化学、鉄鋼、穀物や木材のエリアに入港する大型船のほかに、工場や大型クレーンなど、世界が交わる近代的な工業地帯が目の前に!



展望塔

「港信号」の4つのサイン(In・Out・Free・X)で船を誘導。

遊覧船待合室

発券所・売店があり休憩所としても使用可。



ユーリカに乗船した方には数量限定ノベルティをプレゼント!

「港湾サービス」は24時間365日欠かす事ができないもの。曳船や遊覧船の運航など各種業務において安全で質の高いサービスを、効率

工場夜景や夕暮れのクルーズも企画中
船上からの視点で工場地帯を身近に

現在も発展途上の港であり、防波堤や公共岸壁などをさらに整備中。そして中央防波堤がある外港地区は、洋上風力発電の基地港としての大きな役割が期待されています。小野さんは「再生可能エネルギーの新たな拠点として、ますます重要性が増しています」と語っています。

臨海工業地帯。その中にある鹿島港は、世界有数の陸地を掘り削った掘込港湾として知られ、首都圏の東側の玄関口として物流機能を担う「首都圏東側のゲートウェイ」と呼ばれています。東京タワー程もある330mの世界各国の巨大タンカーも停泊する日本最大級の工業生産拠点には、年間1万1000〜2000隻が入港し、その貨物量は国内トップクラスの年間5500万トン〜6000万トンを誇ります。

ユーリカの詳細はこちらから

Information

鹿島埠頭株式会社

船舶部 船舶営業課
茨城県神栖市東深芝8
TEL:0299-92-3033



運航ダイヤ

土日祝日13:30~14:15

料金

大人1260円、小学生以下630円、小学生未満は大人1人に対して1人無料

してみてはいかがでしょうか?

現在では乗船した方々に、不織布のエコバック、ユーリカ号のペーパークラフトなどのノベルティグッズを配布中。

小野さんは「地元の方々には鹿島臨海工業地帯や鹿島港と何かしら関わりがあると思います。船上から別な視点で工場内を見ることが、より地元の工場地帯を身近に感じてもらえたら嬉しいですね」と呼び掛けています。

毎日、港内では2万2000人もの人々が働き、地域だけでなく日本の発展に寄与している鹿島港。

鹿島港一周見学船は、12歳未満のライフジャケット着用を義務付けたり、厳格な安全基準や管理を徹底。今後は新遊覧船の導入、企業や旅行会社とのタイアップ企画、より快適で交流が生まれる待合所へのリニューアルなども検討中で、10月〜12月に工場夜景や夕暮れを楽しめるナイト・トワイライトクルーズの新企画も進行しています。

的でシームレスに提供していきたいと考えています」と小野さん。